安全データシート

G-flex

JIS Z 7252 : 2025 / JIS Z 7253 : 2025 に準拠

SDS 整理番号 (JP): PL-XC-2026-JP-050

2026/09/23 (印刷日) | JA (日本語)

第1部分 化学品及び会社情報

化学品の名称	G-flex
SDS 整理番号 (JP)	PL-XC-2026-JP-050
推奨用途	3D プリント線材
使用上の制限	利用できない

会社情報（仕入先）	
仕入先	JF Polymers(Suzhou) Co., Ltd.
住所	No. 7-1 Xinggang East Road, Changshu City, Jiangsu Province, China. 215500
電話 / FAX	T +86 0512-52058005 / F +86 0512-52096516
Email	support@polymaker.com
緊急連絡電話番号	+86 0512-52058005 (受付時間内のみ 9:00a.m.-17:30p.m.)

第2部分 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	
爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない

有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性 (経口)	区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

処理時の追加危険有害性: 溶融状態では皮膚に接触すると重度の熱傷を引き起こす可能性がある。通常の使用条件下では、その他の重大な危険有害性はないと思われる。

第3部分 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	Article.

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS 番号	化審法番号	安衛法番号
TPU	20-60%	-	-	9009-54-5	-	-
CaCO3	0-10%	-	1-122	471-34-1	1-122	-

GHS 基準により、本製品には危険性に分類され、かつ含有率が濃度限界値以上の成分は含まれていません。

第4部分 応急措置

応急措置

応急措置 一般	気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	皮膚は多量の水で洗浄する。溶融物による熱傷は医師の診察を受ける。
眼に入った場合	予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状 / 損傷 吸入した場合	通常の条件下では特に無し。 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
症状 / 損傷 皮膚に付着した場合	通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがあ る。
症状 / 損傷 眼に入った場合	通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。
症状 / 損傷 飲み込んだ場合	通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	対症的に治療すること。

第5部分 火災時の措置

適切な消火剤	乾燥粉末消火剤
使ってはならない消火剤	強い水流は使用しない。
火災危険性	GHSに基づく分類では可燃性固体に分類されません。しかし、有機ポリマーとして本製品は物理的に可燃性を有しており、着火源や極めて高温条件下に置かれた場合、燃焼するおそれがあります。
爆発の危険	直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、分解による有機物。特定の燃焼条件下では、他の少量の有毒物質が存在する可能性を排除できない。
消火方法	安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

第6部分 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
非緊急対応者 保護具	推奨される個人用保護具を着用する。
非緊急対応者 応急処置	漏出エリアを換気する。
緊急対応者 保護具	適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

緊急対応者 応急処置	不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
浄化方法	製品は機械的に回収する。
その他の情報	物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

第7部分 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	データなし
安全取扱注意事項	作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。 **アースおよび等電位接続を確保する。**火花を発生しない工具を使用する。静電気対策を講じる。粉塵の堆積を避ける（定期的に清掃する）。
接触回避	データなし
衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。
処理時の追加危険有害性	通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件	涼しいところに置き、日光から遮断すること。 **着火源、スパーク、高温表面および裸火から離して保管する — 禁煙。**強酸化剤と一緒に保管しないこと。
安全な容器包装材料	データなし
技術的対策	涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

第8部分 ばく露防止及び保護措置

許容濃度

成分	CAS 番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
本製品の成分について、日本産業衛生学会（JSOH）又は厚生労働省が定めた物質固有の許容濃度は規定されていない。				

設備対策

設備対策	作業所の十分な換気を確保する

保護具

個人用保護具	推奨される個人用保護具を着用する
呼吸用保護具	換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する
手の保護具	保護用手袋
眼の保護具	安全メガネ

皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	環境への放出を避けること

第9部分 物理的及び化学的性質

物理状態	固体 (成形品)
色	着色剤により異なる
臭い	無臭
pH	—
融点 (°C)	—
凝固点 (°C)	データなし
沸点 (°C)	データなし
引火点 (°C)	データなし
自然発火点 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
可燃性	GHS 区分に該当しない（物理的燃えやすさあり）
蒸気圧 (kPa)	データなし
相対密度 (g/cm³)	—
密度 (g/cm³)	1.22 g/cm^3
相対ガス密度 (空気=1)	データなし
溶解度 (g/L)	水不溶
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし
爆発特性	データなし
爆発限界 (vol %)	データなし
酸化特性	データなし
動粘性率 (mm²/s)	データなし
粒子特性 (µm)	データなし

備考：本製品は通常の使用条件下では安定な成形品（Article）である。推奨保管条件下（涼しく換気の良い場所、直射日光を避ける）では品質劣化は見られない。 火災または極度の高温に曝露された場合の挙動は第 5 項、第 10 項を参照。

物理的燃えやすさに関する注記：本製品は GHS 基準により可燃性固体として分類されない。しかし、有機ポリマーとして、本製品は物理的に燃焼可能であり、点火源または極めて高い温度に曝された場合に燃焼する。分解温度を超えると、本製品は発火し燃焼を持続し、炭素酸化物および他の熱分解生成物を放出する（第 5 項および第 10 項を参照）。

第10部分 安定性及び反応性

反応性	通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。

避けるべき条件	**熱、炎、スパークおよびすべての着火源。**直射日光。粉塵の生成。過度の加熱 (> 60 °C)。湿気を避ける。混触危険物質（10.5 項参照）。
混触危険物質	**強酸化剤（過酸化物、塩素酸塩、硝酸塩、過塩素酸塩など）― 燃焼挙動を悪化させる可能性がある。**強酸。強塩基。還元剤。
危険有害な分解生成物	通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

第11部分 有害性情報

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入)	区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない(粉じん、ミスト)
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

第12部分 環境影響情報

生態毒性

生態系- 全般	本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期（急性）	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	区分に該当しない

残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない

第13部分 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	

	固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	空の容器を再利用しない。

第14部分 輸送上の注意

国際規制	輸送規則の定義上危険物に該当しない。
国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号 (UN RTDG)	規制されていない
正式品名 (UN RTDG)	規制されていない
容器等級 (UN RTDG)	規制されていない
輸送危険物分類 (UN RTDG)	規制されていない
海上輸送 (IMDG)	
国連番号 (IMDG)	規制されていない
正式品名 (IMDG)	規制されていない
容器等級 (IMDG)	規制されていない
輸送危険物分類 (IMDG)	規制されていない
航空輸送 (IATA)	
国連番号 (IATA)	規制されていない
正式品名 (IATA)	規制されていない
容器等級 (IATA)	規制されていない
輸送危険物分類 (IATA)	規制されていない
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コード	非該当
国内規制	補足情報なし

第15部分 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)	非該当
消防法	指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4） 可燃性固体類
外国為替及び外国貿易法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

港則法	非該当
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	非該当
毒物及び劇物取締法 (PDSC)	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR / 化管法)	非該当

その他の規制情報

国連リスト	非該当
国際協定	非該当
他の地域的な情報	非該当
その他の情報、制限及び禁止法規	非該当

第16部分 その他の情報

免責条項

当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。